



学童・ダンプ・事業団・トラックのなかまが 神奈川県本部2018年5.17統一行動実施！

神奈川県本部は、2018年の統一行動を5月17日に実施しました。早朝7時30分に川崎市役所前に結集した県本部の仲間（伊藤県本部委員長、神奈川県南支部8人、川崎学童保育指導員支部6人、神奈川ダンプ支部2人、鉄道本部神奈川地方本部1人）は、川崎市庁舎に出勤する市職員や通行人にビラを配布する宣伝行動からスタート。テッシュの付いていないビラを1時間で約500枚を配布しました。



川崎市職員にビラを差し出すなかま

その後、川崎市が準備した会議室に移動して、川崎学童保育と神奈川ダンプのなかまの要求にもとづく要請を両支部各1時間ずつおこないました。

川崎市は、自主運営の学童保育所に対する国の補助金受け入れを拒否し続けているため該当保育所は国の施策を享受することを不当に妨げられています。

また、ダンプ支部が再三にわたって指摘している「ダンプ規制法12条団体等の使用促進措置」でも行政の不作为とし



川崎市役所前の宣伝行動に結集した県本部の仲間

か思えない怠慢を続けています。この日の要請では、こうした点を厳しく追及し改善のために必要な行動や市の各担当部署との継続的な協議などについて確認しました。

川崎市への要請を終えた参加者は昼食休憩をはさんで横浜に移動したあと午後一番に横浜事業団支部の“高齢者事業団などへの随意契約による仕事の発注”など高齢者就労対策の充実を求めて横浜市と神奈川県に要請を行いました。

つづいて神奈川労働局に移動した参加者は、トラック部会の要求「労働時間の短縮や休息期間の大幅延長など国際基準に適合する施策」を中心に要請をおこない行動を終了しました。



川崎市要請で挨拶する伊藤県本部委員長